

<p>登美ヶ丘北中校区</p>	<p>みんなが集い、交流する、素晴らしい空間</p>
<p>取組目標 地域・学校・子どもが一緒になって共通の目標に向かって進むイベントを企画し、みんなが共同作業する事により「連帯感」を育てる。この地域で人が集うイベントは初めてであるが、教育協議会がリードし地域連携を育てていきたい。</p>	<p>取組内容 「登美ヶ丘フェスタ」は当会が中心になり、自治連合会、社会福祉協議会の3団体での共催事業。過去地域でのイベントは無く、初めての企画で地域のニーズを踏まえ「地域の音楽・芸術家を中心とした芸術フェスタ」を企画。「奈良のうまい物」「奈良が発祥」「奈良がNo!」「天平衣装を生徒が制作」など、子どもや住民の参加イベントにしたい。初年度は、東登美ヶ丘小学校区を対象としているが、将来は校区を超えた「登美ヶ丘」という地域での開催に広げたい。</p>
<p>登美ヶ丘北中学校</p>	<p>「創立30周年からの新たな第一歩」</p>
<p>取組目標 地域に根付くとともに、より広い視野と新たな発想による実践力を身に着けよう！</p>	<p>取組内容 国内外の災害被災地から学び、安心・安全を守るための活動 国際理解および平和を守る活動 地域の良さを発揮し、創意工夫により魅力ある地域づくり</p>
<p>登美ヶ丘小学校</p>	<p>「地域やなかまとともに育む登美っ子」</p>
<p>取組目標 体験学習(食育・キャリア教育・世界遺産学習・伝承遊び等)を多く取り入る。ふれあい事業(お話の森・子育てを考える会・授業補助・音楽鑑賞会・命を考える・生け花等)の活動を通して、地域の方々にいろいろなことを教わる。環境整備事業(花壇・校内清掃・学校周辺清掃・校庭整備・ペンキ塗り等)を行い、多くの地域の方に学校に来てもらえる機会を増やす。地域の方とかわりながら、子どもたちの活動を充実させる。「ふれあいルーム」の充実。</p>	<p>取組内容 体験学習の際には、ゲストティーチャーやコーディネーターの方に関わってもらう。授業補助等の学習活動に地域の方が入ることのメリットを教職員が理解する。PTAの清掃ボランティア活動とリンクさせるだけでなく、花壇・ペンキ・清掃を担当してくれるボランティアグループを作り、通年活動してもらえに各事業・活動の担当コーディネーターを配置する。また、担当教職員との協働できるようにする。「ふれあいルーム」を地域の方が常に使える(集える)部屋として設置し、充実させる。</p>
<p>東登美ヶ丘小学校</p>	<p>瞳キラキラ 心わくわく 新しい出会い、発見をもとめて</p>
<p>取組目標 子どもたちが生き生きと活動できる空間の設営に取り組む。地域教育力を効果的に活用して、体験的学習や集団的活動を通して生きる力を培う。地域の方々とふれあいや読書活動を通して心豊かな子どもを育てる。</p>	<p>取組内容 生活科や総合的な学習の時間等においてゲストティーチャーを招くなど体験的学習の充実を図る。児童活動における栽培活動や文化体験活動、奉仕活動等を通して人とのかわり、新しい「こと・もの」との出会いを数多く取り入れる。環境ボランティアを募り、野菜作りや園芸活動のアドバイスや環境整備活動で地域との方々の交流を深める。読書活動推進ボランティアを募り、朝の読書タイム、読み聞かせ会、図書館の整備等、読書活動を推進する。異学年交流や幼稚園・中学校との交流を通して人間関係づくりを進める。</p>
<p>登美ヶ丘幼稚園</p>	<p>わくわく・どきどき・地域と歩む幼稚園</p>
<p>取組目標 様々な感動体験をする中で豊かな心ややろうとする意欲を育み、たくましく生きる幼児の育成。自分たちの地域に親しみ、愛着を持つ幼児の育成。</p>	<p>取組内容 園内の環境整備事業に取り組む。親子野菜栽培活動を充実させ親子で野菜栽培活動を充実させる。園内の環境を地域の方や園児とともに整備し、花の苗えの活動をすすめていく。</p>
<p>東登美ヶ丘幼稚園</p>	<p>「ふれあいいっぱい 楽しい幼稚園」 「元気いっぱい 星の子」</p>
<p>取組目標 体験を計画的につくる。また、みんなの幼稚園として地域や保護者の協力を得て取組を充実させる。ふれあい感動体験事業・お話広場・英語で遊ぼう・わらべうたで遊ぼう・リズム教室・ふれあいコンサート・お茶会・カレーパーティ・小学校との交流・おもちゃつき・地域のお年寄りとの交流・サッカースクールなど 飼育栽培事業・野菜の栽培・花苗の植え付け・生き物の飼育 環境整備事業・園庭の草刈り・樹木の剪定・花壇の整備・手作り玩具の設置</p>	<p>取組内容 地域の教育力を活かした事業を進める。中学校区地域教育協議会との話し合いをもとに「とみきたスクール」や「登美ヶ丘フェスタ」に取り組む。モーモークラブなど園ボランティアと連絡を密にして協力体制を図る。校区の小中学校との連携を深め、児童生徒と園児と交流の機会を増やす。</p>